

ごあいさつ



茨城県テニス協会 会長

黒澤 弘 忠

各都県の激戦を制し代表として第31回関東実業団対抗テニスリーグ戦に参加される皆様に心からお祝いを申し上げます。また、ここ神栖市海浜運動公園テニスコートに28チームの選手及び役員の皆様方の御参集を賜り、盛大に開催させて頂きますことは、当県にとりまして大変なる慶びとするところでございます。

御来県を心から歓迎申し上げる次第でございます。

選手の皆様方には、厳しさを増す職場環境の中、日夜磨かれたスキルをもって各都県大会を見事に突破されました。本大会においては、その実力を存分に発揮され、全国実業団対抗テニストーナメント出場を目指して熱戦を展開されることを御期待申し上げます。

この茨城の地は、関東平野の東部に位置し、気候温暖、筑波山、霞ヶ浦、大洗海岸、水戸偕楽園などに代表されますように風光明媚で自然環境にまだまだ恵まれております。人口約300万人が在住し、農業・漁業の生産物は全国的にも有数で 国内各地域に出荷され、大変喜ばれております。

また、大会会場の神栖市は、鹿島工業地帯の中心に位置し、鹿島港が一望に見渡せる港公園展望塔（52^m）始め、鹿島神宮、香取神宮と共に東国三社の一つとなる息栖神社、白砂青松の波崎の砂丘と海水浴場、日川浜オートキャンプ場、外浪逆浦（そとなさかうら）の美しい夕日が見える『なさか夕日の郷公園』などがございます。皆様方におかれましては、是非とも大会の合間や、職場・御家族とともに各地域を観光され、茨城の味を御賞味いただければ幸いです。

この大会会場は、2019年の茨城国体の開催会場となるテニスコートでございますが（全24面）、皆様方には、今後とも各種大会、講習会等での御利用をお願い申し上げます。

最後に、本大会の開催に当たり、御協賛を賜りました株式会社ダンロップスポーツマーケティング、御後援を賜りました神栖市、神栖市教育委員会、神栖市体育協会、並びに株式会社茨城新聞社の関係各位、また、大会の企画・運営にご尽力いただきました関東テニス協会及び各都県テニス協会実業団関係者の皆様、ならびに試合運営にあたられた県テニス協会の皆様に深甚の敬意と感謝を申し上げますとともに、本大会の盛会を祈念いたしまして、歓迎の御挨拶といたします。